

公的年金の分かりやすい情報発信モデル事業検討会
若年者層に向けた国民年金保険料納付促進モデル事業
第1回検討会資料

目次

1. 受託者概要と受託する業務について	...	P.3
2. 昨年度の実態調査報告書等に基づいた分析 若年者層に向けた国民年金保険料給付促進モデル事業に関して	...	P.10
3. 成果物の作成方針とイメージ	...	P.26
4. モデル事業試行のイメージ	...	P.34
5. 作成スケジュールとPDCAモデル	...	P.37

1. 受託者概要と受託する業務について

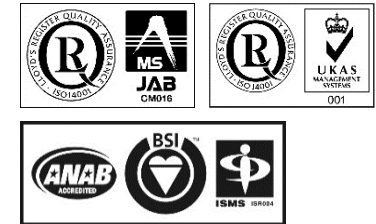
1.1. 会社概要：株式会社 電通パブリックリレーションズ

会社概要



- 社名 **株式会社 電通パブリックリレーションズ**
英文社名：DENTSU PUBLIC RELATIONS INC.
- 設立 1961年9月20日
- 本社所在地 〒 104-0045 東京都中央区築地5丁目6番4号
浜離宮三井ビルディング
(代表電話番号 03-5565-1055)
- 代表者 代表取締役社長執行役員 近見竹彦
- 従業員数 226名 (2014年1月)
- 支社 関西支社
- 主要加盟団体 日本パブリックリレーションズ協会 (PRSJ)
日本記者クラブ
国際PR協会 (IPRA)
日本広報学会
フォーリン・プレスセンター・ジャパン
日本外国特派員協会 他

取得認証



当社の強み

1. 2011年に50周年を迎えた長い歴史によって蓄積されたノウハウ
2. 105名のPRSJ認定PRプランナーを含む、専門家集団 (2014年1月現在)
3. 日本最大規模の売上を誇るリーディング・カンパニー
4. 総合的なコミュニケーションサービスをワンストップで提供
5. メディア、ソートリーダー、有識者などとの豊富なネットワーク
6. 大阪に支社をもつ数少ないPR会社
7. 国内外でのアワード受賞の実績
8. 情報セキュリティへの取組 (ISO27001認証基準の取得)
9. CSR活動の一環としてのISO14001認証取得
10. 専任の担当者が常にアップデートしている約15,000のメディア・コンタクトを保有
11. MSLGROUPをはじめとした、グローバルネットワーク
12. 低い離職率 (2013年1月~12月の当社社員の離職率: 2.9%)

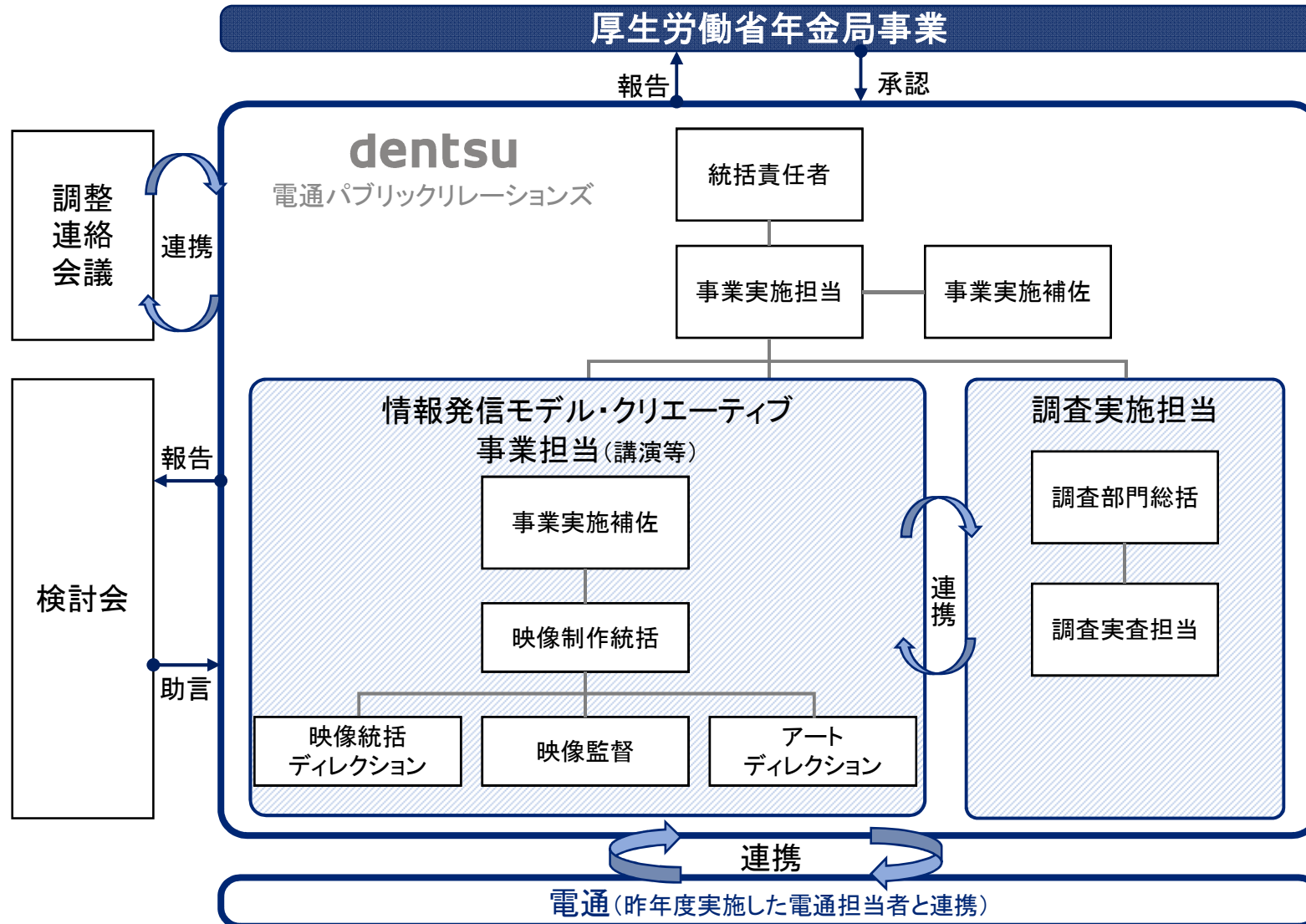


主要クライアント

- ◎ 2013 Fortune Global 500 のうち
49社がクライアント
- ◎ 日経インデックス225社 のうち
59社がクライアント

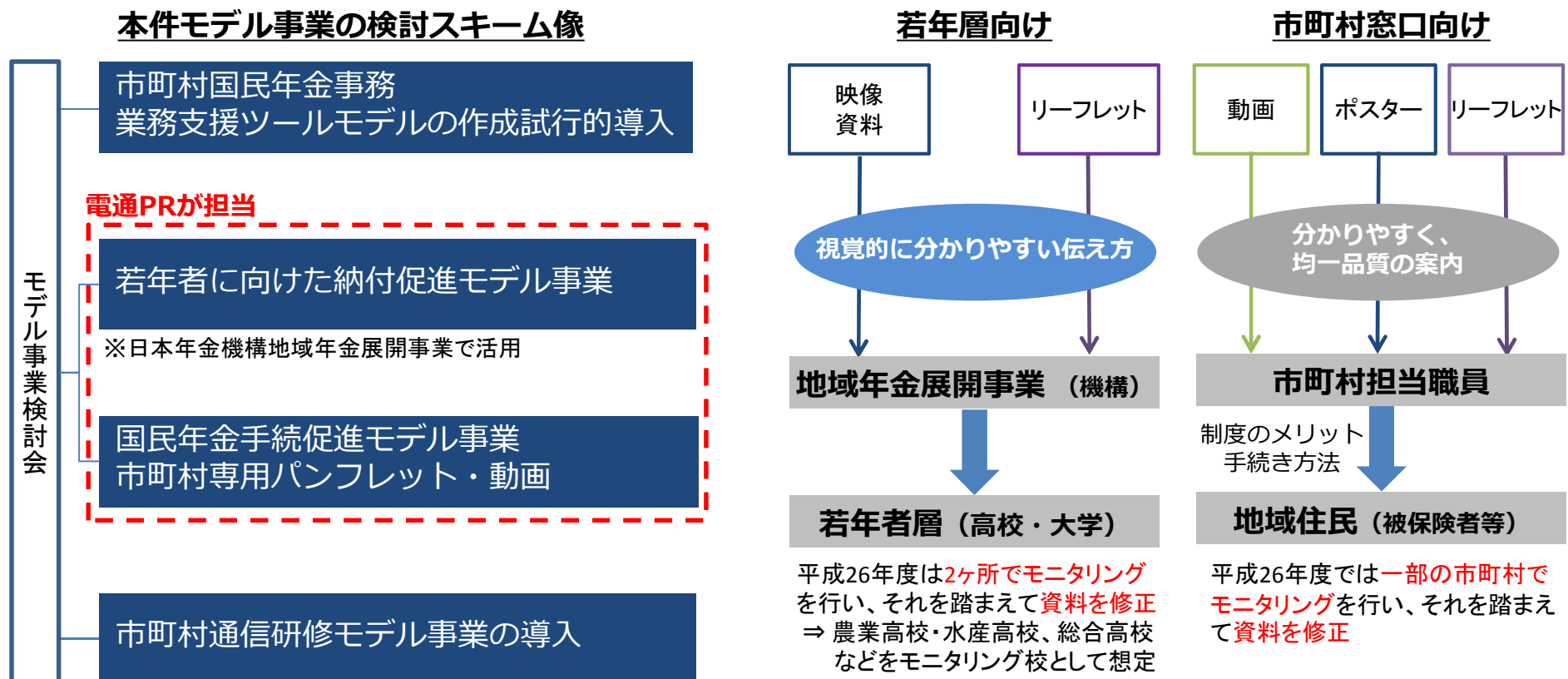
1.2. 事業実施体制

本事業を実施するにあたり、効率的かつ効果的な事業推進を行うため事業実施担当の下に情報発信モデル事業およびクリエイティブ事業と調査実施担当を設置し実施している。



1.3. 電通PRが受託する業務について

- ・国民年金保険料の納付率の向上のためには、年金制度を理解していただき、その有用性を実感してもらうことが重要である。
- ・保険料の納付率向上に向けて、特に国民年金の未納者が多いと言われる若年層への対策の一環として、若年層に対し年金制度への理解の一助となる映像資料等を作成するとともに、当該資料を用いてモデル的に情報発信を行う。
- ・公的年金のメリットやその手続方法についてわかりやすく周知するための、市町村との連携の強化を目的とした国民年金の手続きに関するパンフレット・ポスター・動画をモデル的に作成し、市町村窓口におけるわかりやすい年金制度・手続の説明を行うためのモデル事業を行う。



1.4.今後の検討会にて御検討いただきたい内容

	市町村における国民年金等の手続 促進に係る情報発信モデル事業	国民年金保険料の給付促進に係る 情報発信モデル事業
第1回 検討会	<ul style="list-style-type: none"> ■ 調査分析の概要 (実施内容及びタイミング) ■ 市町村向け情報発信事業におけるモニタリング指標 ■ 制作ツール(映像資料/パンフレット・ポスター)のコンセプト及び方向性 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 既存調査分析の概要 (実施内容及びタイミング) ■ 若年層向け情報発信事業におけるモニタリング指標 ■ 制作ツール(映像資料/リーフレット)のコンセプト及び方向性 ■ モデル授業の実施内容
第2回 検討会		<ul style="list-style-type: none"> ■ グループインタビュー実施内容 (年金中長期滞納者およそ10名程度を想定)
第3回 検討会	<ul style="list-style-type: none"> ■ 映像資料のストーリーボード案 ■ パンフレット・ポスターのデザインキャンプ案 ■ 既存調査分析結果 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 講演展開案 ■ 映像資料のストーリーボード案 ■ リーフレットのデザインキャンプ案 ■ 既存調査分析結果

1.5. 第1回検討会にて議論戴きたい事項

本日の検討会では、これまでの既存調査などをご紹介したうえで、若年層向けおよび市町村向けの制作物（映像資料等）に対するファーストインプレッションをお聞かせ頂き、今後ご提示する制作物案へ反映させていただきたいと考えております。

第1回検討会にてご助言戴きたい事項

成果物イメージ
(●章、P.00)

- 若年層向け制作物
 - ・映像資料
 - ・リーフレット
- 市町村窓口向け
 - ・動画
 - ・リーフレット
 - ・ポスター

- 成果物に対するファーストインプレッション(第一印象)
- 訴求するテーマや内容に関して

今後、制作過程におけるお願い

第1回本検討会ではファーストインプレッションをお聞かせいただくこととなるため、別途**構成員各位**の様々な指摘やご意見をお聞かせ頂き、**今後、改めてご提示する制作物へ反映させていきたい**と考えております

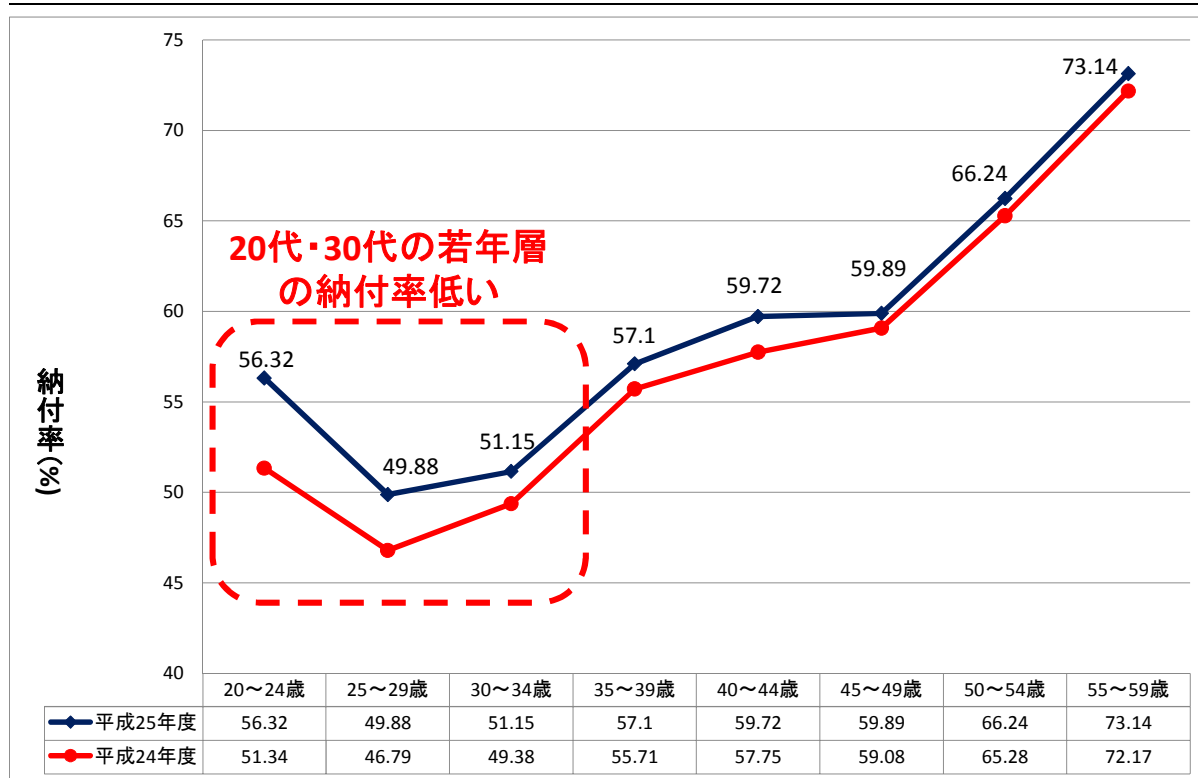
2. 昨年度の実態調査報告書等に基づいた分析

若年者層に向けた国民年金保険料給付促進モデル事業に関して

2.1.1. 若年層における国民年金納付に関する課題認識と目的

「平成25年度の国民年金の加入・保険料納付状況」（厚生労働省年金局）によると、20代~30代の納付率が他の年齢階級と比べ低い状況となっており、本事業の目的としては若年層のなかでも、まだ国民年金の納付が本格的にはじまっていない高校生や大学生が将来的な年金未納者になることを防ぐことが重要であると考えられる。

年齢階級別納付状況



(出典：平成26年6月 厚生労働省年金局「平成25年度の国民年金の加入・保険料納付状況」)

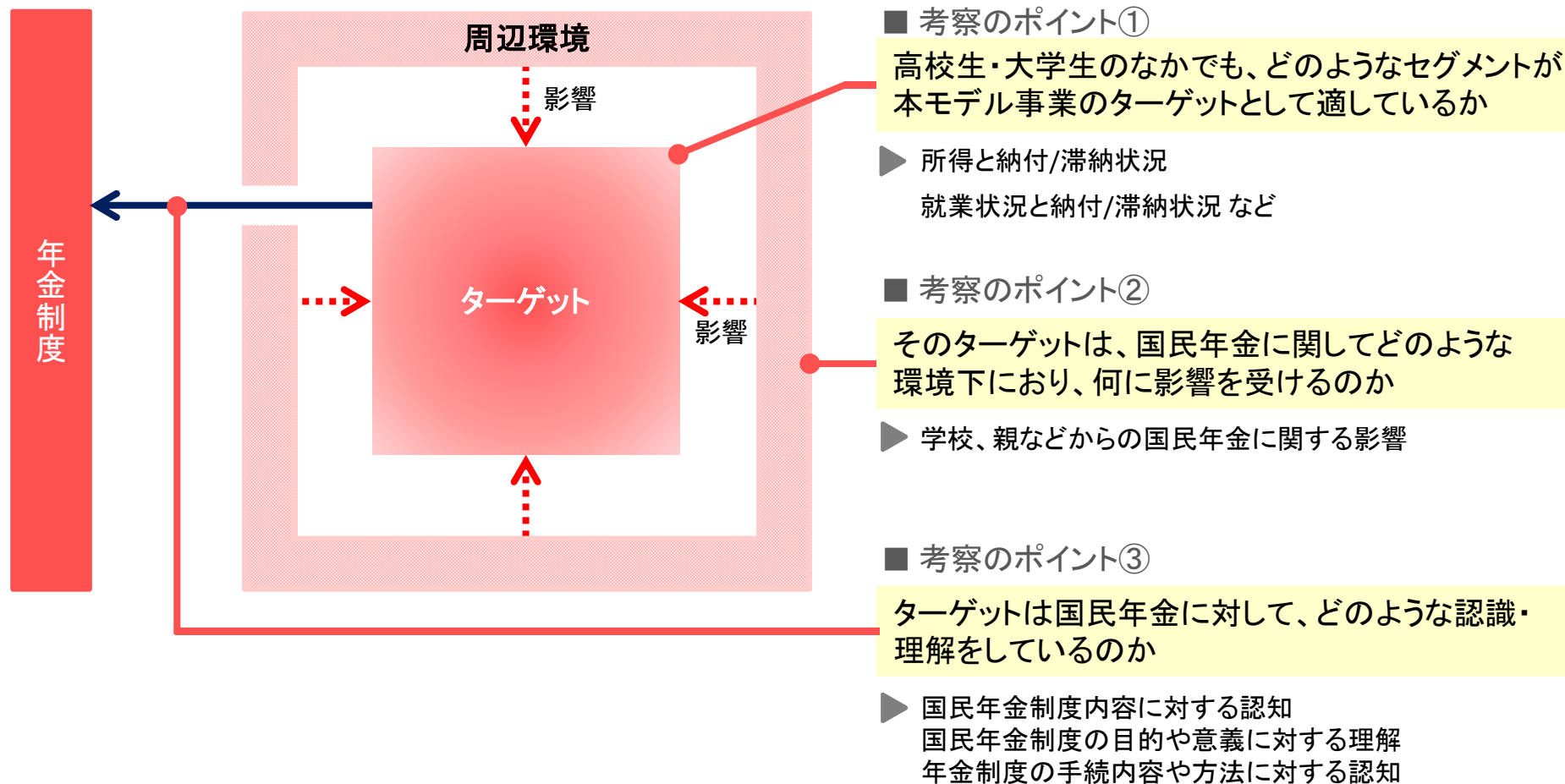
本事業の目的

若年層、特にまだ国民年金の納付が本格的に始まっていない高校生・大学生に対して、「国民年金制度に対する不信感」や「漠然とした不安感」などを払拭し、高校生や大学生が将来的な年金未納者になることの防止

2.1.2. ターゲット抽出における考察の観点

- ・ 高校生・大学生のなかでも、どのようなセグメントが本モデル事業のターゲットとして適しているか、既に納付しているもののデータを基に、「所得」と「滞納状況」などの観点から考察する。
- ・ また高校生・大学生を取り巻く環境下、国民年金に関してどのような影響があるのか、学校での年金制度授業実施割合や親からの影響などを含めて考察する。

ターゲットを取巻く周辺環境(イメージ図)



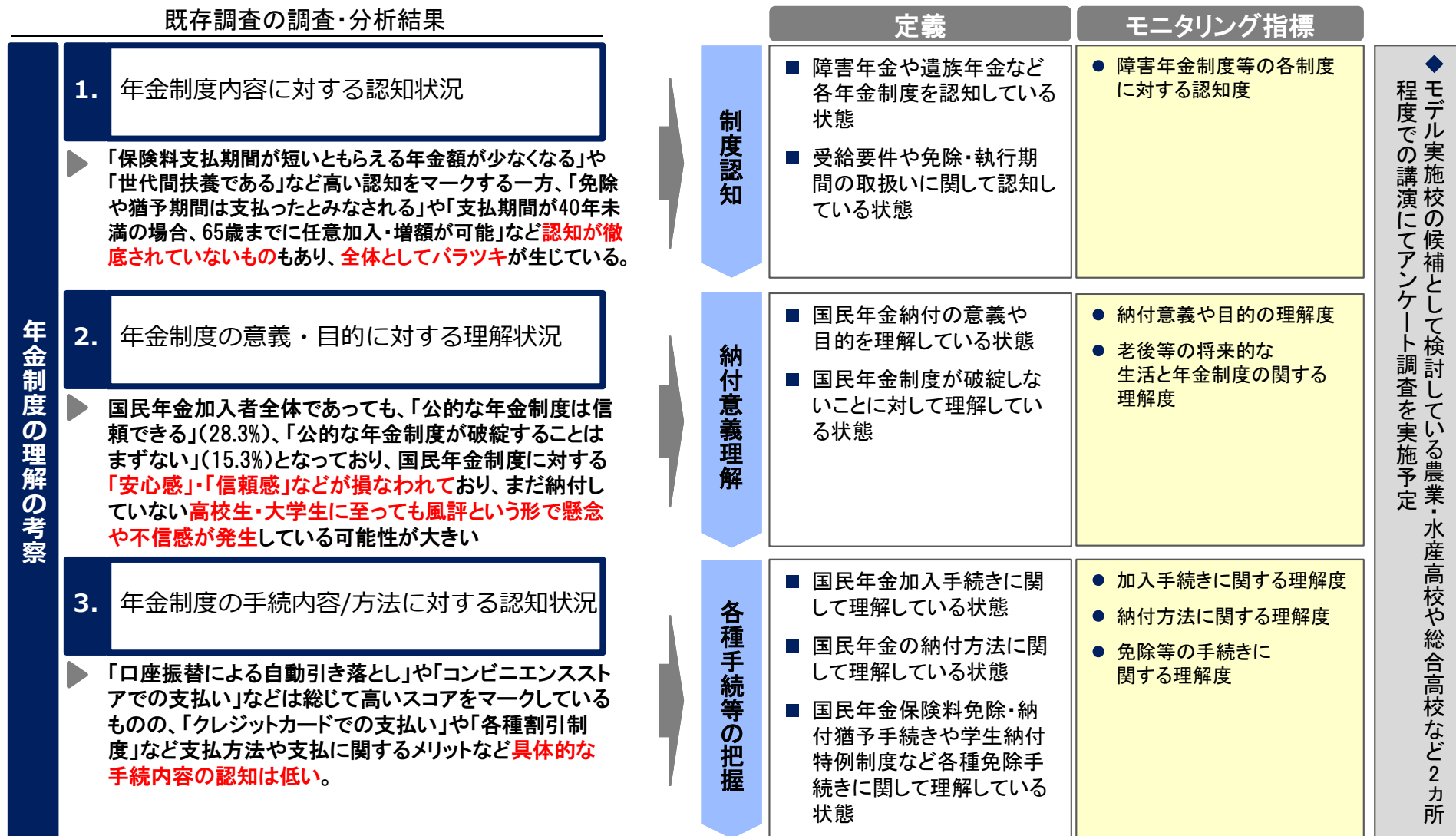
2.1.3. 既存調査の調査・分析結果

既存の調査などを「ターゲット」、「周辺環境」、「年金制度の理解状況」を考察した結果、下記のようなことが判明した。

考察①	ターゲットの考察	1. 第1号被保険者の属する世帯の総所得金額の分布状況	▶	・約 65.2% が総所得額 300万円未満
		2. 滞納者の就業状況	▶	・年金滞納者は総所得が低い傾向
		3. 学歴別労働割合	▶	・保険料滞納者のうち、約 57.5% が「 臨時・パート 」と「 無職 」 ・高卒業者の約 42.2% が「 正社員 」、大学卒業者の約 12.2% が「 非正社員 」 ・学歴と就業形態に直接的な相関は見られない
考察②	周辺環境の考察	1. 中学校・高等学校での年金制度関連授業の実施状況	▶	・中学校で約 11% 、高等学校で約 30.1% しか「 年金制度 」の授業を実施しておらず、「 クレジット・ローン 」等と比較し低調
		2. 中学校・高等学校が使用する教科書の年金関連記述満足度	▶	・中学校で約 33.4% 、高等学校では約 38.7% が「 年金制度 」に関して教科書の記述が不十分であると回答
		3. 社会保障関連授業実施前の社会保障に対するイメージ	▶	・高校生の約 60% が 社会保障 に対するイメージについて「 普通 」と回答しており、 イメージが固まっていない可能性
		4. 社会保障関連授業実施後の社会保障に対する関心状況	▶	・授業実施後、約 92% の生徒の 社会保障への関心が向上
		5. 社会保障関連授業実施後の社会保障に対する理解状況	▶	・授業実施後、生徒の約 94% が 理解向上
		6. 社会保障に対するイメージ変化状況	▶	・生徒の約 72% の生徒が イメージ向上
		7. 親からの支払推奨状況	▶	・ 親から国民年金の支払推奨 (20代～30代)は約 36.0%
		8. 親の国民年金に対する理解状況	▶	・世帯年収が低い世帯は国民年金制度の意義や目的など親が理解・納得していない可能性
考察③	年金制度の理解の考察	1. 年金制度内容に対する認知状況	▶	・制度内容に対する認知不足
		2. 年金制度の意義・目的に対する理解状況	▶	・年金制度に対する不安感・不信感や関連する風評
		3. 年金制度の手続内容/方法に対する認知状況	▶	・具体的な手続内容/方法に関する認知不足
		4. 年金制度の手続内容/方法に対する認知状況	▶	・国民年金の支払に関する自分ゴト化の未充足

2.1.2. 成果物に対するモニタリング指標のイメージ

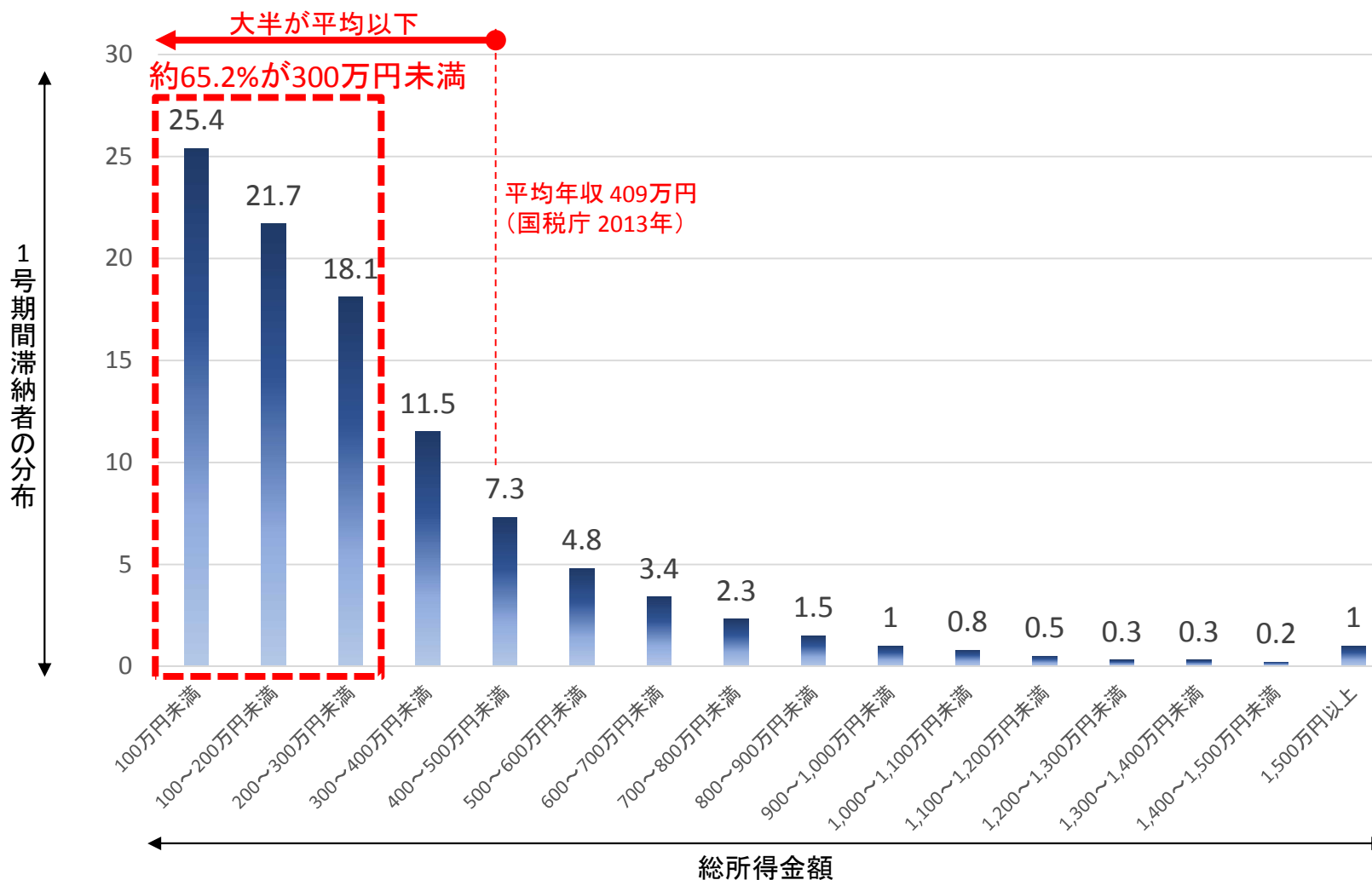
- ・調査分析結果をもとに成果物に対するモニタリング指標としては「制度認知」、「納付意義理解」、「各種手続等の把握」の3つのプロセスに関する指標が妥当であると考えられる。
- ・現時点では以下の内容を検討しており、最終的なモニタリング手法については、改めてご提案したい。



【参考①】 . 第1号被保険者の属する世帯の総所得金額の分布状況

「平成23年国民年金被保険者実態調査 結果の概要」(厚生労働省 年金局)によると、1号期間滞納者の約65%が総所得額300万円未満となっており、年金滞納者は総所得が低い傾向にあると考えられる。

第1号被保険者の属する世帯の総所得金額の分布(1号期間滞納者)

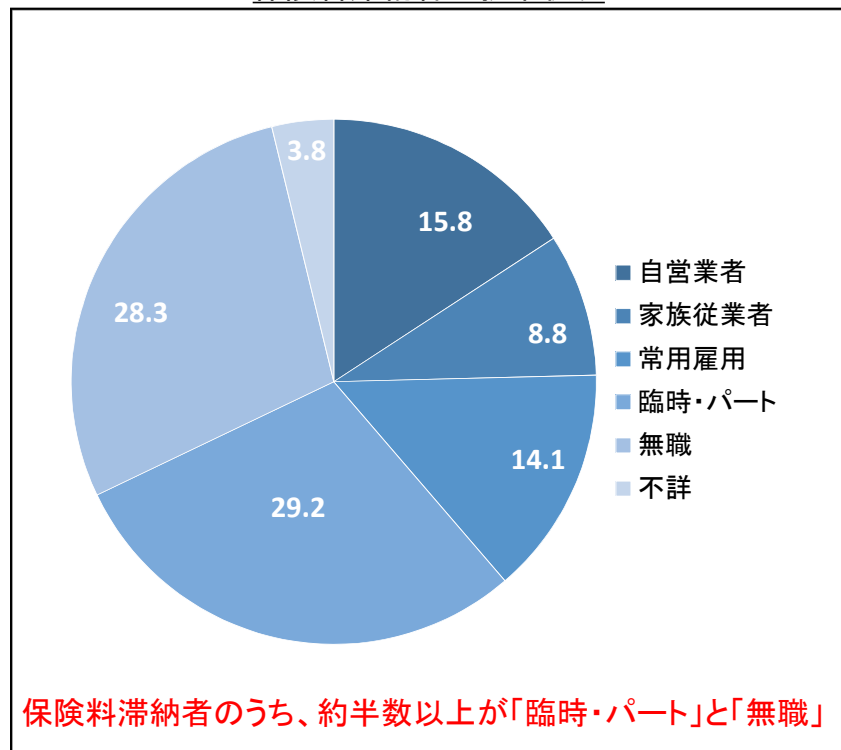


(出典:「平成23年国民年金被保険者実態調査 結果の概要」(厚生労働省 年金局))

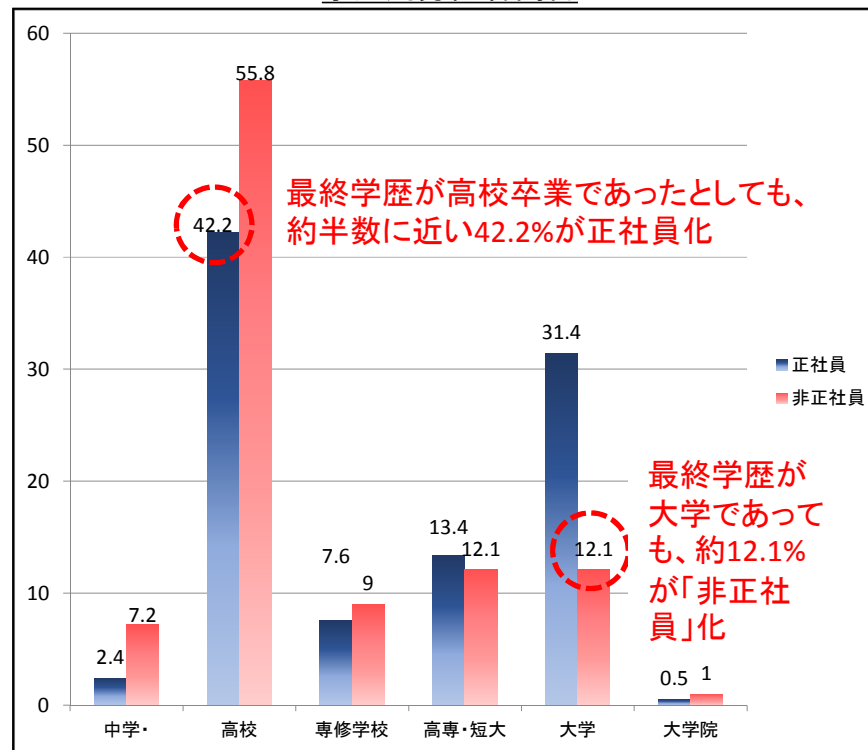
【参考②】. 滞納者の就業状況と学歴別労働者割合

「国民年金被保険者実態調査」によると、保険料滞納者の就業状況として、約半数以上が「臨時・パート」や「無職」となっており、学歴別労働者別の労働者割合をみると、最終学歴が大学卒であるから「正社員」、高校卒業だから「非正社員」ということには至らない。

保険料滞納者の就業状況

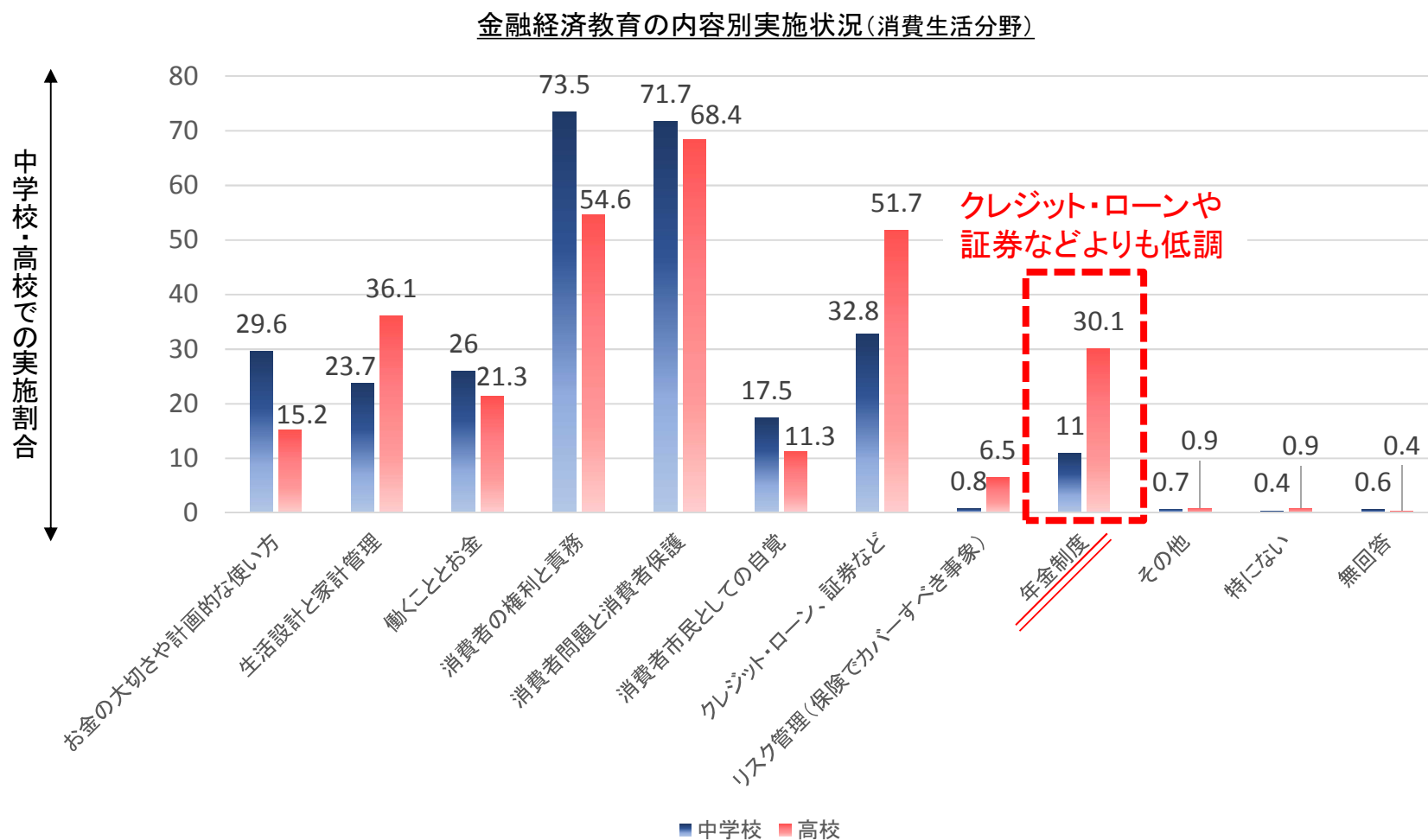


学歴別労働者割合



【参考③】 . 中学校・高校での年金制度関連授業の実施割合

平成26年「中学校・高等学校における金融経済教育の実態調査報告書」（金融経済教育を推進する研究会）によると中学校・高等学校での年金制度関連教育の実施状況は、中学校で11.0%、高等学校で30.1%と他と比べて低い結果となっている。

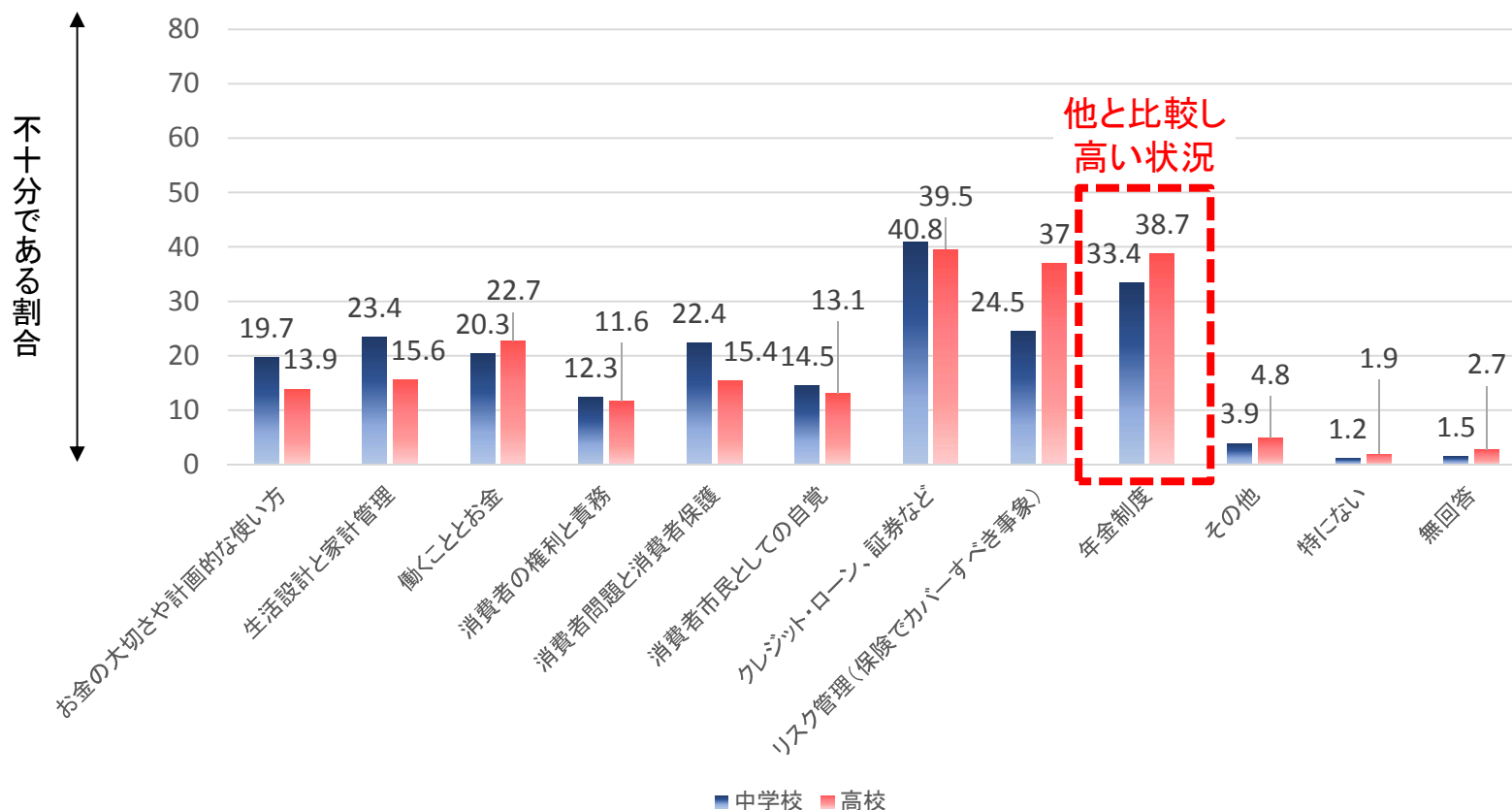


出典:「平成26年 中学校・高等学校における金融経済教育の実態調査報告書」(金融経済教育を推進する研究会/事務局 日本証券業協会 調べ)

【参考④】 . 中学校・高等学校が使用する教科書での年金関連記述満足度

また同報告書によると、「年金制度」に関して中学校では33.4%、高等学校では38.7%が「教科書の記述が不十分であった」と考えており、「クレジット・ローン、証券」などと並び高い数値となっている。

教科書の記述が不十分である内容(消費生活分野)

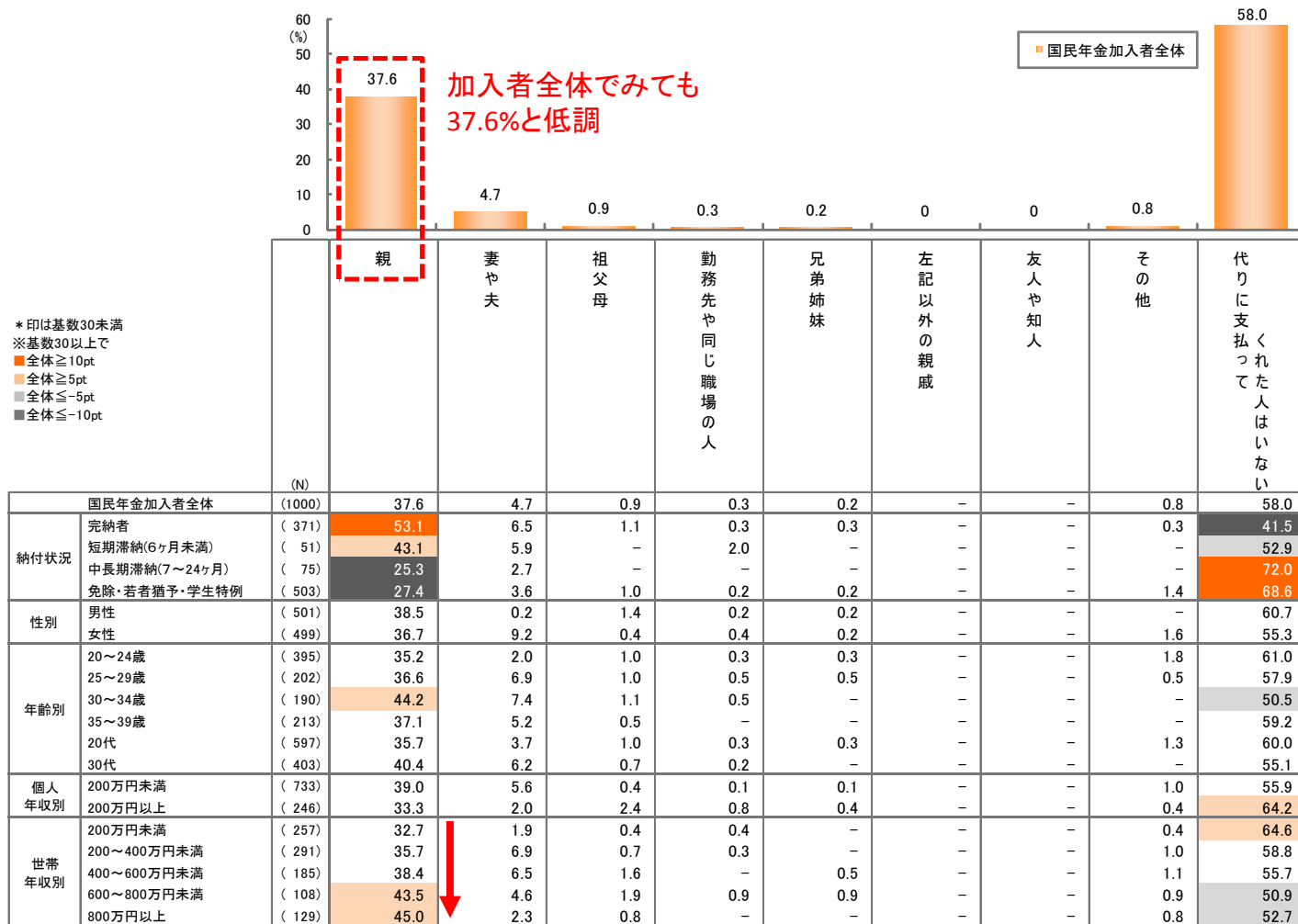


出典:「平成26年 中学校・高等学校における金融経済教育の実態調査報告書」(金融経済教育を推進する研究会/事務局 日本証券業協会 調べ)

【参考⑤】. ターゲットを取巻く環境①：親による支払い

20代から30代の未納者に関する親による国民年金支払い状況は、加入者全体でも37.6%と高くない状況であり、世帯年収が高くなるほど、代わりに支払う傾向が見られる。

Q4. 今までに、あなたの国民年金の保険料を代わりに支払ってくれた方がいましたか。(複数回答)



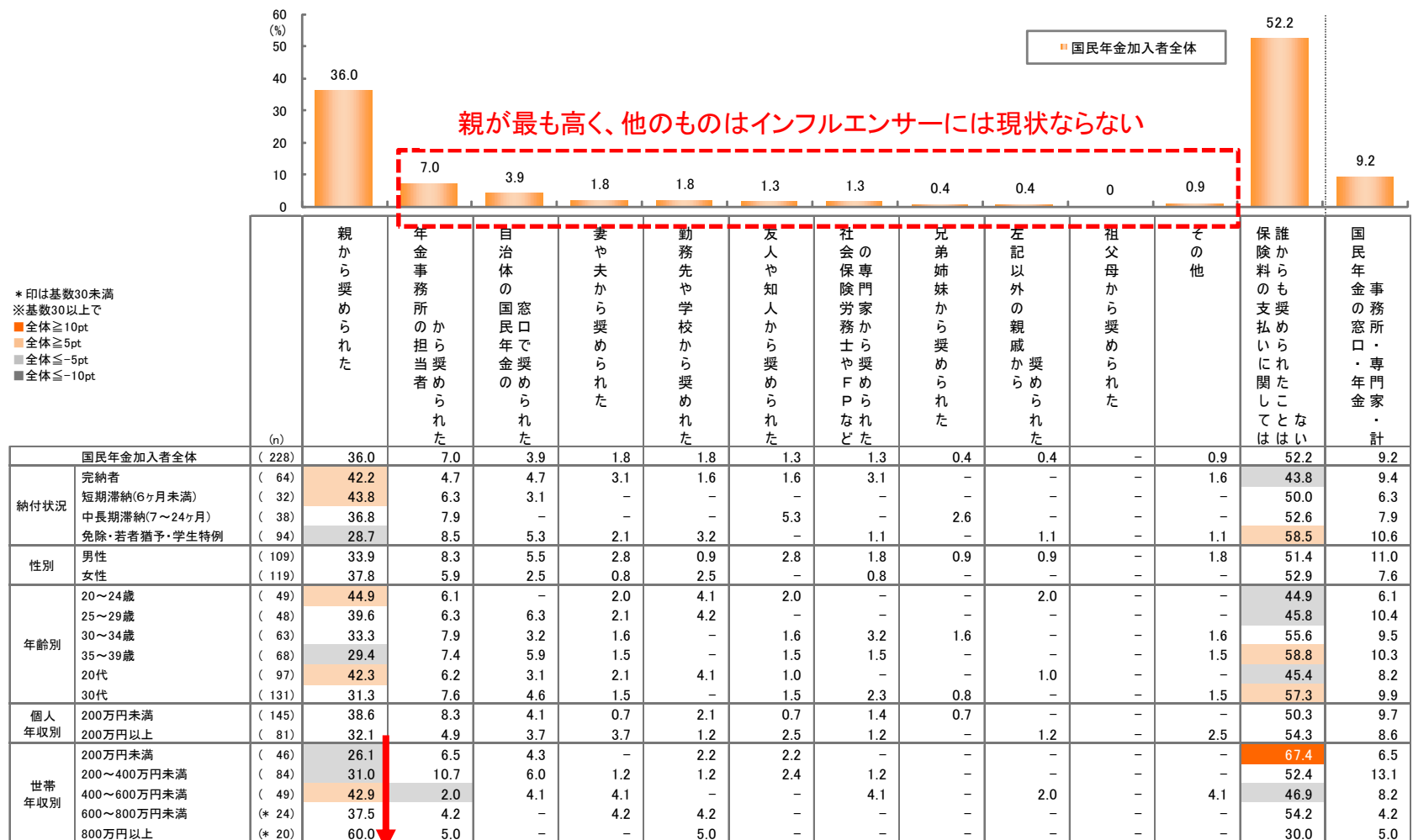
【基数：国民年金加入者】

所得が高くなるほど、代わりに支払う傾向

【参考⑥】 . ターゲットを取巻く環境②： 親からの支払推奨

20代から30代の未納者に関する支払の推奨に関しては、親が最も高く36%となっており、他のものは1%～7%とインフルエンサーとしては現状適さない可能性があるとともに、世帯年収が高くなるほど推奨しており、低い世帯は推奨すらしていない可能性が高い。

Q10. あなたの周囲に国民年金の保険料を支払うように奨めてくれた人がいましたか。(複数回答)



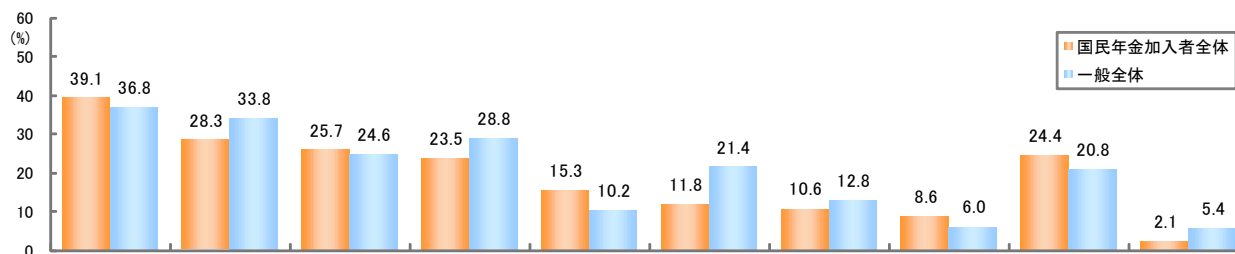
【基数：滞納していた国民年金の保険料を支払った】

所得が高くなるほど、支払を推奨する傾向 (出典:「公的年金に関する情報発信に係る調査研究業務調査報告書」)

【参考⑦】.ターゲットを取巻く環境③：親の国民年金に対する考え方

20代から30代の未納者に関する親の国民年金に対する考え方をみても、世帯年収が低い世帯は、国民年金制度の意義や目的に関して、親が理解・納得していない可能性がある。

Q43. あなたのご両親は、公的年金制度についてどのような考えをお持ちだと思いますか。ご両親の考えに近いと思うものをお知らせ下さい。（複数回答）



	(N)	親の考え方										
		公的年金制度は加入義務だ	公的年金制度は保険料が安い	公的年金制度は充分に受け取れない	公的年金制度は生活の支えとして頼りになる	公的年金制度は破たんするからあてはまらない	公的年金制度は公的年金生活が助けられている	公的年金制度は公的年金制度なら返ってくる	公的年金制度は公的年金の払うことは無理	わからない	あてはまるものはない	
国民年金加入者全体	(1000)	39.1	28.3	25.7	23.5	15.3	11.8	10.6	8.6	24.4	2.1	
納付状況	完納者	(371)	46.6	35.3	24.5	25.9	11.3	12.9	12.4	5.1	21.0	1.6
	短期滞納(6ヶ月未満)	(51)	35.3	31.4	29.4	27.5	9.8	7.8	13.7	7.8	23.5	5.9
	中長期滞納(7~24ヶ月)	(75)	14.7	17.3	25.3	14.7	14.7	6.7	5.3	17.3	36.0	6.7
	免除・若者猶予・学生特例	(503)	37.6	24.5	26.2	22.7	18.9	12.1	9.7	9.9	25.2	1.4
性別	男性	(501)	34.1	29.3	23.2	25.1	16.4	13.6	11.6	8.4	27.1	3.0
	女性	(499)	44.1	27.3	28.3	21.8	14.2	10.0	9.6	8.8	21.6	1.2
年齢別	20~24歳	(395)	45.3	27.6	24.6	23.3	17.7	9.4	10.4	10.6	22.0	2.0
	25~29歳	(202)	38.6	30.7	27.2	26.2	16.8	7.9	12.9	8.9	26.7	1.5
	30~34歳	(190)	32.1	28.4	28.4	22.6	15.8	14.2	11.1	7.4	22.1	2.1
	35~39歳	(213)	34.3	27.2	23.9	22.1	8.9	17.8	8.5	5.6	28.6	2.8
	20代	(597)	43.0	28.6	25.5	24.3	17.4	8.9	11.2	10.1	23.6	1.8
個人年収別	200万円未満	(733)	40.0	27.7	25.8	23.5	15.6	11.5	10.8	8.2	24.1	2.0
	200万円以上	(246)	38.6	30.9	26.4	24.4	15.9	13.4	10.6	10.6	22.0	1.6
世帯年収別	200万円未満	(257)	36.2	26.5	23.7	22.6	14.4	10.9	10.1	8.6	29.2	1.9
	200~400万円未満	(291)	37.1	26.5	26.1	23.0	15.1	12.7	11.3	10.0	27.8	2.1
	400~600万円未満	(185)	40.0	28.6	28.1	24.3	20.0	14.1	13.0	9.7	19.5	0.5
	600~800万円未満	(108)	43.5	33.3	36.1	25.0	17.6	13.0	8.3	9.3	14.8	1.9
	800万円以上	(129)	49.6	34.9	20.2	27.1	12.4	9.3	9.3	5.4	13.2	3.1
一般全体	(500)	36.8	33.8	24.6	28.8	10.2	21.4	12.8	6.0	20.8	5.4	

【基数：対象者全員】

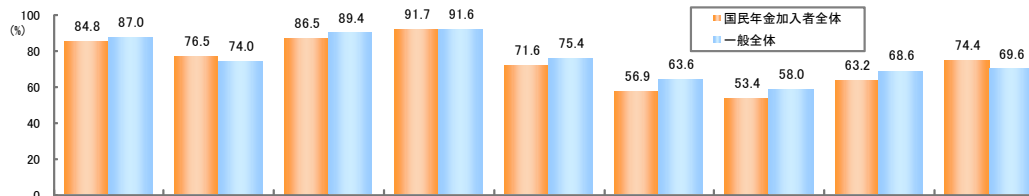
(出典：「公的年金に関する情報発信に係る調査研究業務調査報告書」)

【参考⑧】 「制度内容に対する認知不足」

課題として制度自体や制度の構造にたいする認知が徹底されていないものもあり、全体としてバラツキが生じていると考えられることから、「制度内容に対する認知が不足している」と考えられる。

既存調査から見えた課題

Q19. 公的年金制度の以下のことに関して、あなたはどの程度ご存じでしたか。（単一回答）



* 印は基数30未満
 ※ 基数30以上で
 ■ 全体 ≥ 10pt
 ■ 全体 ≥ 5pt
 ■ 全体 ≤ 5pt
 ■ 全体 ≤ 10pt

	(N)	国民年金加入者全体 (%)	免除や猶予の期間が短い (%)	国民年金は世代間扶養である (%)	保険料も支払う必要がある (%)	国民年金を国が税金で負担する (%)	納付期間が70歳まで任意加入可能 (%)	支払い期間が60歳未満で任意 (%)	物価スライド制 (%)	支払い免除・猶予制度がある (%)
国民年金加入者全体	(1000)	84.8	76.5	86.5	91.7	71.6	56.9	53.4	63.2	74.4
納付状況	完納者 (371)	85.2	73.9	89.5	92.7	69.8	56.1	50.1	66.0	74.1
	短期滞納(6ヶ月未満) (51)	86.3	74.5	82.4	92.2	74.5	52.9	49.0	64.7	76.5
	中長期滞納(7~24ヶ月) (75)	81.3	77.3	77.3	85.3	54.7	49.3	53.3	52.0	61.3
	免除・若者猶予・学生特例 (503)	84.9	78.5	86.1	91.8	75.1	59.0	56.3	62.6	76.3
性別	男性 (501)	86.6	79.2	86.0	90.6	75.0	62.1	60.1	68.3	76.8
	女性 (499)	83.0	73.7	87.0	92.8	68.1	51.7	46.7	58.1	71.9
年齢別	20~24歳 (395)	78.2	69.9	82.8	87.6	69.4	51.9	49.9	59.0	69.4
	25~29歳 (202)	87.6	77.2	88.1	93.6	70.3	59.9	55.9	59.9	75.7
	30~34歳 (190)	90.0	83.7	88.4	95.8	76.3	60.5	54.7	67.4	75.3
	35~39歳 (213)	89.7	81.7	90.1	93.9	72.8	60.1	56.3	70.4	81.7
	20代 (597)	81.4	72.4	84.6	89.6	69.7	54.6	51.9	59.3	71.5
個人年収別	200万円未満 (403)	89.8	82.6	89.3	94.8	74.4	60.3	55.6	69.0	78.7
	200万円未満 (733)	83.8	74.8	86.5	91.7	71.5	55.9	52.8	61.7	74.2
	200万円以上 (246)	89.0	82.9	87.4	93.5	73.2	60.2	54.9	68.3	76.4
世帯年収別	200万円未満 (257)	83.3	72.4	82.1	90.3	68.9	53.3	48.6	58.0	71.6
	200~400万円未満 (291)	84.9	78.4	90.0	94.2	75.3	58.1	54.0	65.3	78.0
	400~600万円未満 (185)	87.6	77.3	87.6	94.1	70.8	57.3	53.0	66.5	75.1
	600~800万円未満 (108)	87.0	80.6	87.0	91.7	75.9	61.1	58.3	59.3	69.4
800万円以上 (129)	85.3	79.8	88.4	90.7	71.3	59.7	57.4	71.3	80.6	
一般全体	(500)	87.0	74.0	89.4	91.6	75.4	63.6	58.0	68.6	69.6

【基数：対象者全員】

「保険料支払期間が短いともらえる年金額が少なくなる」や「世代間扶養である」など高い認知をマークする一方、「免除や猶予期間は支払ったとみなされる」や「支払期間が40年未満の場合、65歳までに任意加入・増額が可能」など認知が徹底されていないものもあり、全体としてバラツキが生じている。

制度内容に対する認知不足

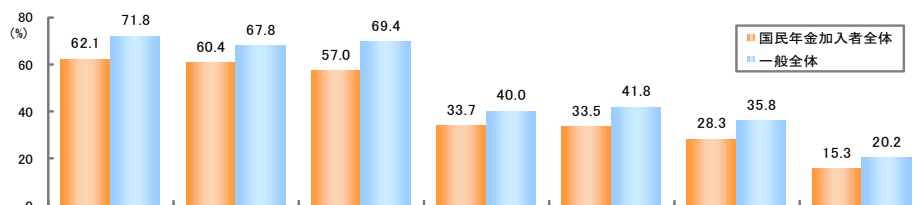
ターゲットが高校生・大学生であることを踏まえると、制度内容だけでなく制度自体の認知についても促進することが重要

【参考⑥】 「年金制度に対する不安感・不信感や関連する風評」

「公的な年金制度は信頼できる」というものは28.3%に留まり、全体的に「年金制度に対する不安感・不信感や関連する風評」などが課題としてあると考えられる。

既存調査から見えた課題

Q1. 公的年金制度に対し、あなたはどのようにお考えですか。（単一回答）



* 印は基数30未満
 ※基数30以上で
 ■全体 ≥ 10pt
 ■全体 ≥ 5pt
 ■全体 ≤ -5pt
 ■全体 ≤ -10pt

	(N)	公的年金制度は信頼できる	公的年金制度が破綻することはない	公的年金制度は安心感がある	公的年金制度は優れた制度である	公的年金制度を利用すべきである	公的年金制度を支える仕組みである	公的年金制度を払うことにつながる
国民年金加入者全体	(1000)	28.3	15.3	33.5	33.7	57.0	60.4	62.1
納付状況	完納者 (371)	29.6	15.4	33.7	32.3	60.1	61.5	68.7
	短期滞納(6ヶ月未満) (51)	29.4	15.7	37.3	23.5	58.8	58.8	72.5
	中長期滞納(7~24ヶ月) (75)	22.7	9.3	21.3	26.7	34.7	45.3	41.3
	免除・若者猶予・学生特例 (503)	28.0	16.1	34.8	36.8	57.9	62.0	59.2
性別	男性 (501)	30.1	16.6	34.7	35.3	58.3	60.7	60.9
	女性 (499)	26.5	14.0	32.3	32.1	55.7	60.1	63.3
年齢別	20~24歳 (395)	32.2	15.2	39.2	34.9	57.5	62.8	62.3
	25~29歳 (202)	23.8	14.9	28.7	29.7	53.5	58.9	61.4
	30~34歳 (190)	23.7	13.2	28.4	32.1	57.4	58.4	61.1
	35~39歳 (213)	29.6	17.8	31.9	36.6	59.2	59.2	63.4
	20代 (597)	29.3	15.1	35.7	33.2	56.1	61.5	62.0
個人年収別	200万円未満 (733)	29.3	15.6	34.7	34.7	58.9	62.5	63.0
	200万円以上 (246)	26.4	15.0	31.3	31.7	52.8	55.7	60.6
世帯年収別	200万円未満 (257)	30.7	15.6	36.6	37.4	60.7	59.9	58.8
	200~400万円未満 (291)	26.8	15.5	30.6	31.3	54.3	57.4	61.2
	400~600万円未満 (185)	31.9	16.2	37.8	35.7	55.7	63.8	62.7
	600~800万円未満 (108)	26.9	13.9	33.3	32.4	58.3	62.0	66.7
	800万円以上 (129)	24.8	16.3	29.5	33.3	60.5	64.3	68.2
一般全体	(500)	35.8	20.2	41.8	40.0	69.4	67.8	71.8

【基数：対象者全員】

国民年金加入者全体であっても、「公的な年金制度は信頼できる」(28.3%)、「公的な年金制度が破綻することはない」(15.3%)となっており、国民年金制度に対する「安心感」・「信頼感」などが損なわれており、まだ納付していない高校生・大学生に至っても風評という形で懸念や不信感が発生している可能性が大きい

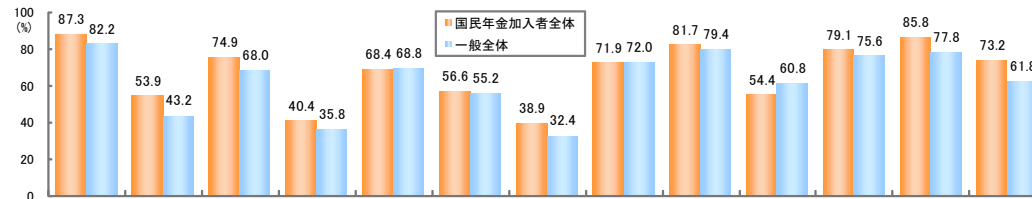
年金制度に対する不安感・不信感や関連する風評

【参考⑥】「具体的な手続内容/方法に関する認知不足」

公的年金制度に関する様々な手続きやサービスに関する認知度は低いものもあり、「具体的な手続内容/方法に関する認知不足」といった課題があると考えられる。

既存調査から見た課題

Q15. 公的年金制度の以下のサービスやしくみについて、あなたは聞きされたことがありますか。



「口座振替による自動引き落とし」や「コンビニエンスストアでの支払い」などは総じて高いスコアをマークしているものの、「クレジットカードでの支払い」や「各種割引制度」など支払方法や支払に関するメリットなど具体的な手続内容の認知は低い。

具体的な手続内容/方法に関する認知不足

* 印は基数30未満
 ※ 基数30以上で
 ■ 全体 ≥ 10pt
 ■ 全体 ≤ 5pt
 ■ 全体 ≤ -5pt
 ■ 全体 ≤ -10pt

	(N)	87.3	53.9	74.9	40.4	68.4	56.6	38.9	71.9	81.7	54.4	79.1	85.8	73.2
国民年金加入者全体	(1000)	87.3	53.9	74.9	40.4	68.4	56.6	38.9	71.9	81.7	54.4	79.1	85.8	73.2
納付状況	完納者 (371)	89.8	59.3	76.5	44.7	75.5	62.5	48.8	72.2	81.9	60.6	74.7	80.9	66.8
	短期滞納(6ヶ月未満) (51)	90.2	52.9	84.3	29.4	70.6	49.0	45.1	72.5	92.2	60.8	84.3	88.2	72.5
	中長期滞納(7~24ヶ月) (75)	86.7	49.3	84.0	38.7	62.7	48.0	34.7	65.3	81.3	46.7	74.7	73.3	64.0
	免除・若者猶予・学生特例 (503)	85.3	50.7	71.4	38.6	63.8	54.3	31.6	72.6	80.5	50.3	82.5	91.1	79.3
性別	男性 (501)	84.8	56.3	73.9	46.9	70.3	61.3	45.7	74.1	82.8	60.1	78.6	83.0	73.3
	女性 (499)	89.8	51.5	76.0	33.9	66.5	51.9	32.1	69.7	80.6	48.7	79.6	88.6	73.1
年齢別	20~24歳 (395)	80.8	51.1	65.8	36.2	55.2	47.6	33.4	64.8	73.4	42.5	71.9	87.8	73.4
	25~29歳 (202)	88.1	57.4	77.7	44.1	72.8	61.4	40.6	75.2	85.1	53.5	83.2	89.1	76.7
	30~34歳 (190)	91.1	53.7	83.7	42.1	77.9	63.2	45.3	80.0	88.9	62.6	83.2	85.8	75.8
	35~39歳 (213)	95.3	55.9	81.2	43.2	80.3	62.9	41.8	74.6	87.3	70.0	85.0	78.9	67.1
	20代 (597)	83.2	53.3	69.8	38.9	61.1	52.3	35.8	68.3	77.4	46.2	75.7	88.3	74.5
30代 (403)	93.3	54.8	82.4	42.7	79.2	63.0	43.4	77.2	88.1	66.5	84.1	82.1	71.2	
個人年収別	200万円未満 (733)	86.9	51.2	73.0	37.1	66.7	55.0	35.5	70.5	80.5	49.4	79.0	87.0	74.4
	200万円以上 (246)	89.0	63.0	81.3	51.6	74.4	63.0	49.6	76.4	85.8	69.5	80.5	83.7	72.0
世帯年収別	200万円未満 (257)	86.0	46.3	70.4	35.0	60.3	51.8	28.8	69.3	79.8	46.3	74.7	85.6	72.8
	200~400万円未満 (291)	92.8	60.1	85.6	45.0	75.9	62.9	45.0	75.3	85.6	59.1	86.9	90.0	79.4
	400~600万円未満 (185)	87.6	57.8	72.4	41.6	72.4	61.6	43.2	68.6	81.6	57.3	77.8	83.8	70.8
	600~800万円未満 (108)	81.5	51.9	69.4	40.7	70.4	56.5	39.8	72.2	80.6	58.3	74.1	85.2	71.3
	800万円以上 (129)	82.9	53.5	69.0	41.9	62.8	49.6	39.5	75.2	79.8	54.3	77.5	83.7	69.8
一般全体	(500)	82.2	43.2	68.0	35.8	68.8	55.2	32.4	72.0	79.4	60.8	75.6	77.8	61.8

【基数：対象者全員】

【参考⑦】「国民年金の支払に関する自分ゴト化の未充足」

国民年金の支払理由や考えを見ると、「老後は公的な年金で暮らすと思うから」などの自分ゴトに関する項目は30%未満と低く、「国民年金の支払に関する自分ゴト化が未充足」といった課題があると考えられる。

既存調査から見えた課題

Q5. あなたが国民年金の保険料を支払ったのはどのような考えやお気持ちからでしょうか。
(複数回答)



「老後は公的年金で暮らすと思うから」や「自分が病気やケガで障害を負った時に保障があると思うから」、「老後を生活保護で暮らしたくないから」、「万が一自分が死んだときに残された家族に保障があると思うから」など自分ゴト化に関連するだろう項目は極めて低調

国民年金の支払に関する自分ゴト化の未充足

	(n)	国民年金の義務だから	老後は公的年金で暮らすと思うから	保険料を支払う義務があるから	自分が病気やケガで障害を負った時に保障があるから	若いうちから自分のお金で暮らすから	少くとも政府が保証してくれるから	公的年金は会社や個人で払うから	自分だけの責任で払うから	みんなが払っているから	老後を生活保護で暮らしたくないから	長生きしても年金がもらえるから	万が一自分が死んだときに残された家族に保障があるから	支払う保険料の合計より生活水準は高いから	その時々のお金のやりくり	民間の金融商品より利回り	その他
国民年金加入者全体	(801)	61.4	30.6	25.2	20.6	19.0	18.1	17.2	14.2	13.2	11.0	10.7	7.4	6.9	4.7	3.0	5.7
納付状況																	
完納者	(371)	63.6	33.2	21.6	19.4	17.5	20.8	15.9	14.0	10.8	12.1	11.6	6.7	7.8	4.0	4.0	5.1
短期滞納(6ヶ月未満)	(51)	54.9	35.3	29.4	25.5	29.4	13.7	21.6	11.8	21.6	21.6	25.5	9.8	5.9	3.9	-	-
免除・若者猶予・学生特例	(379)	60.2	27.4	28.2	21.1	19.0	16.1	17.9	14.8	14.5	8.4	7.9	7.7	6.1	5.5	2.4	7.1
性別																	
男性	(410)	56.6	27.6	22.0	22.9	19.0	17.1	16.6	13.2	11.7	10.5	10.5	8.8	9.0	6.8	3.4	6.3
女性	(391)	66.5	33.8	28.6	18.2	18.9	19.2	17.9	15.3	14.8	11.5	11.0	5.9	4.6	2.6	2.6	5.1
年齢別																	
20~24歳	(330)	68.2	28.2	21.5	22.1	18.8	16.7	16.7	16.4	18.5	10.0	9.4	7.9	5.8	5.8	2.1	5.2
25~29歳	(161)	57.1	31.1	32.9	17.4	16.8	19.3	17.4	18.6	11.8	10.6	6.8	6.2	5.6	3.1	0.6	6.2
30~34歳	(149)	56.4	30.2	31.5	24.2	19.5	20.8	17.4	4.7	7.4	12.1	13.4	10.1	9.4	5.4	4.0	3.4
35~39歳	(161)	56.5	35.4	19.3	17.4	21.1	17.4	18.0	14.3	9.3	12.4	14.9	5.0	8.1	3.7	6.2	8.7
20代	(491)	64.6	29.1	25.3	20.6	18.1	17.5	16.9	17.1	16.3	10.2	8.6	7.3	5.7	4.9	1.6	5.5
30代	(310)	56.5	32.9	25.2	20.6	20.3	19.0	17.7	9.7	8.4	12.3	14.2	7.4	8.7	4.5	5.2	6.1
個人年收別																	
200万円未満	(581)	62.5	29.8	26.2	19.1	19.3	18.1	16.0	14.5	13.3	9.8	10.8	6.4	6.0	4.5	2.8	6.5
200万円以上	(205)	59.5	33.7	22.9	25.4	18.5	18.5	20.5	13.7	13.2	14.1	10.7	10.2	9.3	5.4	3.9	3.9
世帯年收別																	
200万円未満	(204)	59.8	24.0	25.0	19.1	18.1	18.6	17.2	15.7	12.3	6.9	11.8	4.9	5.4	2.5	3.4	5.9
200~400万円未満	(220)	55.9	32.3	27.7	25.0	18.2	20.0	14.1	13.6	12.7	13.2	10.5	10.9	9.1	6.8	3.2	7.7
400~600万円未満	(155)	67.7	40.0	22.6	15.5	22.6	17.4	20.0	12.9	10.3	8.4	12.3	5.8	5.2	3.2	1.3	7.7
600~800万円未満	(92)	66.3	32.6	21.7	17.4	22.8	14.1	12.0	10.9	15.2	18.5	8.7	7.6	6.5	1.1	4.3	2.2
800万円以上	(110)	64.5	25.5	28.2	24.5	13.6	18.2	22.7	17.3	18.2	10.9	10.0	6.4	8.2	10.0	2.7	2.7

【基数：過去18ヶ月以上納付者】

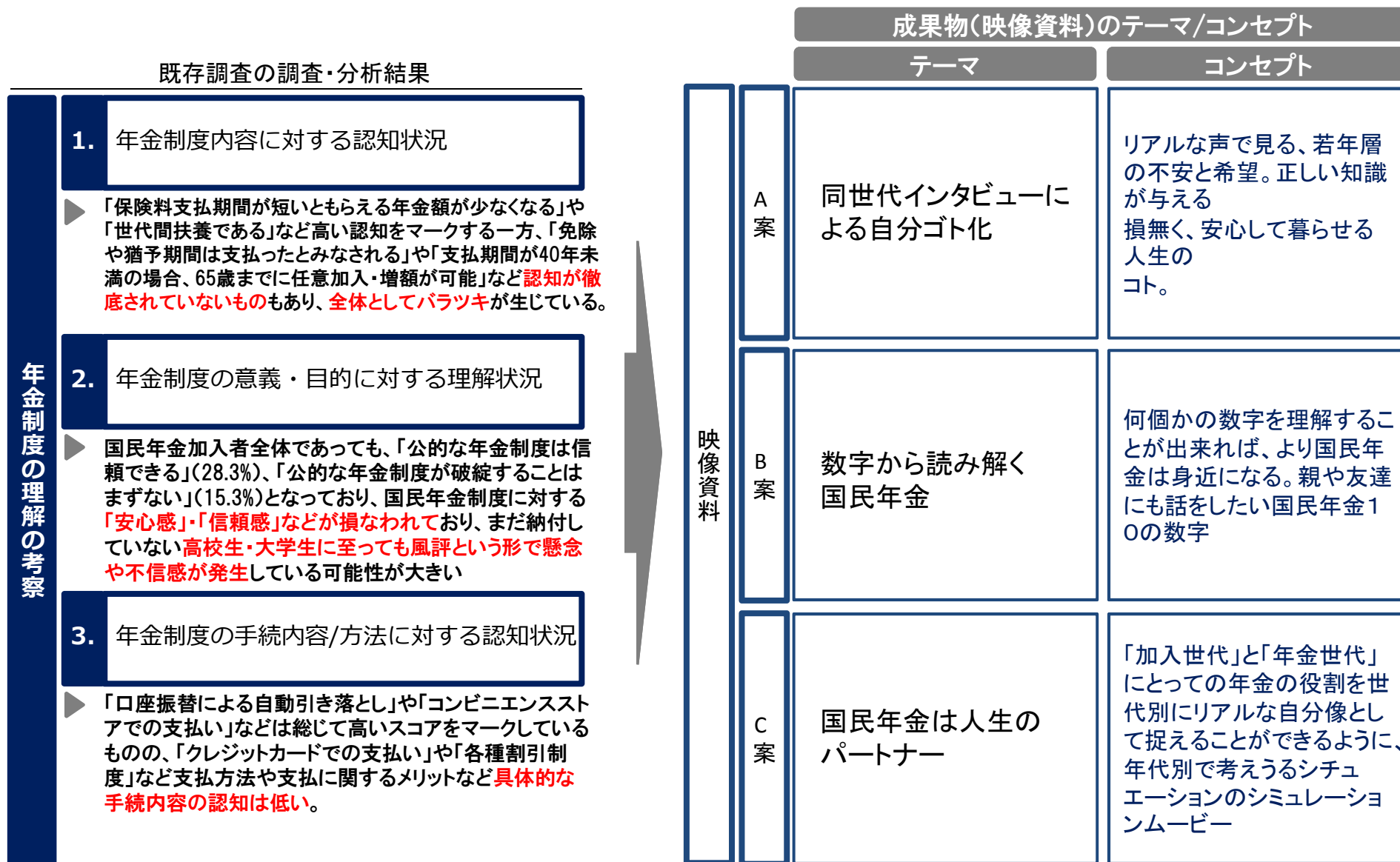
「自分ゴト」に関すると考えられる項目に関しても低いスコア = 「自分ゴト」化できていない

(出典：「公的年金に関する情報発信に係る調査研究業務 調査報告書」)

3. 成果物の作成方針とイメージ

3.1.1. 成果物の作成方針/テーマ：映像資料

映像資料に関しては、「同世代インタビューによる自分ゴト化」、「数時から読み解く国民年金」、「国民年金は人生のパートナー」など3つのテーマとコンセプトが考えられる。



3.2.1. 映像資料イメージ A

テーマ

同世代インタビューによる自分ゴト化

コンセプト

リアルな声で見る、若年層の不安と希望。正しい知識が与える損無く、安心して暮らせる人生のコト。



Q&A 若者達のリアルボイス

街角で実際の若者達へ国民年金に関するインタビューを行い、国民年金に現在抱えている疑問、不安、希望などを聞きくことで、視聴者の共感を得る事と自分事化を促進させる。

●映像制作の考え方

- ・「公的年金制度」に関する一般視聴(御省HP / YouTube 等)での単独視聴による理解促進のための情報網羅。
- ・講義展開で最大限有効活用できるよう、講義内容との連動性を考慮。(内容・チャプター機能等)
- ・リーフレットとの情報連動を図る。(インフォグラフィックスやキービジュアル等)

3.2.2. 映像資料イメージ B

テーマ

数字から読み解く国民年金

コンセプト

何個かの数字を理解することが出来れば、より国民年金は身近になる。
親や友達にも話をしたい国民年金10の数字



88.8

この数字はなんの数字でしょうか？

数字で考える 国民年金

「88.8 この数字はなんの数字でしょうか。
正解は女性が65歳まで生きた方の平均余命の延びです」

このように数字から国民年金を読み解き、理解してもらおう。

●映像制作の考え方

- ・「公的年金制度」に関する一般視聴（御省HP / YouTube 等）での単独視聴による理解促進のための情報網羅。
- ・講義展開で最大限有効活用できるよう、講義内容との連動性を考慮。（内容・チャプター機能等）
- ・リーフレットとの情報連動を図る。（インフォグラフィックスやキービジュアル等）

3.2.3. 映像資料イメージ C

テーマ

国民年金は人生のパートナー

コンセプト

「加入世代」と「年金世代」にとっての年金の役割を世代別にリアルな自分像として捉えることができるように、年代別で考えうるシチュエーションのシミュレーションムービー



ある男性の人生における国民年金

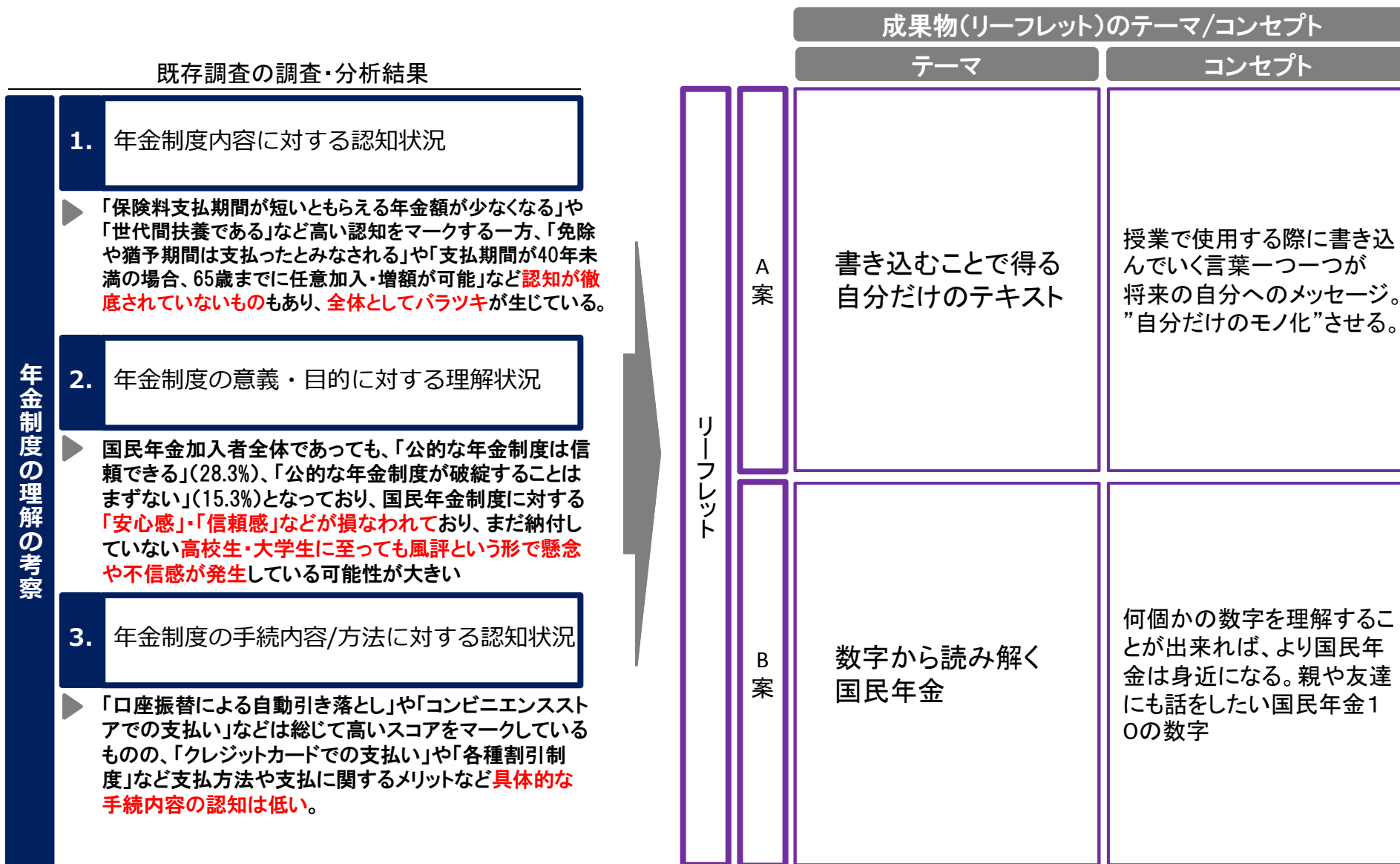
学生、社会人、夫、父親、おじいちゃん、人生にはいろいろなステージが存在する、各ステージで国民年金はどう機能するのか、をある一人の男性の人生を通して伝える。

●映像制作の考え方

- ・「公的年金制度」に関する一般視聴(御省HP / YouTube 等)での単独視聴による理解促進のための情報網羅。
- ・講義展開で最大限有効活用できるよう、講義内容との連動性を考慮。(内容・チャプター機能等)
- ・リーフレットとの情報連動を図る。(インフォグラフィックスやキービジュアル等)

3.3.1. 成果物の作成方針/テーマ：リーフレット

リーフレットに関しては、「書き込むことで得る自分だけのテキスト」、「数時から読み解く国民年金」など2つのテーマとコンセプトが考えられる。



3.3.2. リーフレットイメージ B

(注)リーフレットは映像と連動して使用することを想定している。

テーマ	書き込むことで得る自分だけのテキスト
コンセプト	授業で使用する際に書き込んでいく言葉一つ一つが将来の自分へのメッセージ。 ”自分だけのモノ化”させる。



ドリル方式の穴埋め教材

授業を聞くことで完成する教材。
そして自分だけの教材。一生ものの教材。
自分の手で作る事で自分で考え自分事化することができる。

- リーフレット制作の考え方
 - ・講義での教材としても活用する情報ツールとして、講習の展開案(流れ)を考慮し、情報構成。
 - ・大量の文字情報による圧迫感を抑えたデザイン工夫
(マニュアル本的な紙面にしないシンプル・すっきりした印象のデザイン化)

3.3.3. リーフレットイメージ B

(注)リーフレットは映像と連動して使用することを想定している。

テーマ	書き込むことで得る自分だけのテキスト
コンセプト	授業で使用する際に書き込んでいく言葉一つ一つが将来の自分へのメッセージ。 ”自分だけのモノ化”させる。

15,200

※この数字は、国民年金の年間支払い額です。これは、国民年金の納付者数、平均余命(65歳からの)、一括払いだとオトク、保険料免除、現在の支給額などの数字を切り口に国民年金を理解する。

3,840

※この数字は、国民年金の年間支払い額です。これは、国民年金の納付者数、平均余命(65歳からの)、一括払いだとオトク、保険料免除、現在の支給額などの数字を切り口に国民年金を理解する。

数字で考える 国民年金

- ・51.5兆 : 年金の年間支払い額
- ・6,736万 : 納付者数
- ・88.82 : 平均余命(65歳からの)
- ・3,840 : 一括払いだとオトク
- ・15,250 : 保険料免除
- ・64,000 : 現在の支給額

などの数字を切り口に国民年金を理解する。

●リーフレット制作の考え方

- ・講義での教材としても活用する情報ツールとして、講習の展開案(流れ)を考慮し、情報構成。
- ・大量の文字情報による圧迫感を抑えたデザイン工夫
(マニュアル本的な紙面にしないシンプル・
すっきりした印象のデザイン化)

4. モデル事業試行のイメージ

4.1. 講義における訴求要素

■ 講義における訴求要素

高校生と大学生では、「年金」の基礎的知識の理解度が異なることを念頭に、
3段階に分けて講義の訴求要素を選定します。

STEP1 ▶ 基礎編

- ★ 「年金」とは(基礎的概要)
※高校のみボリュームゾーン
- ★ 年金制度の仕組み・種類
※大学でのボリュームゾーン
- ★ 年金制度への理解度確認

誤解や不安感の
洗い出し

STEP2 ▶ 応用編

- ★ 年金制度の役割
保険料の納付状況
- ★ 「公的年金」の意義とメリット

誤解や不安感の
解消

STEP3 ▶ 実践編

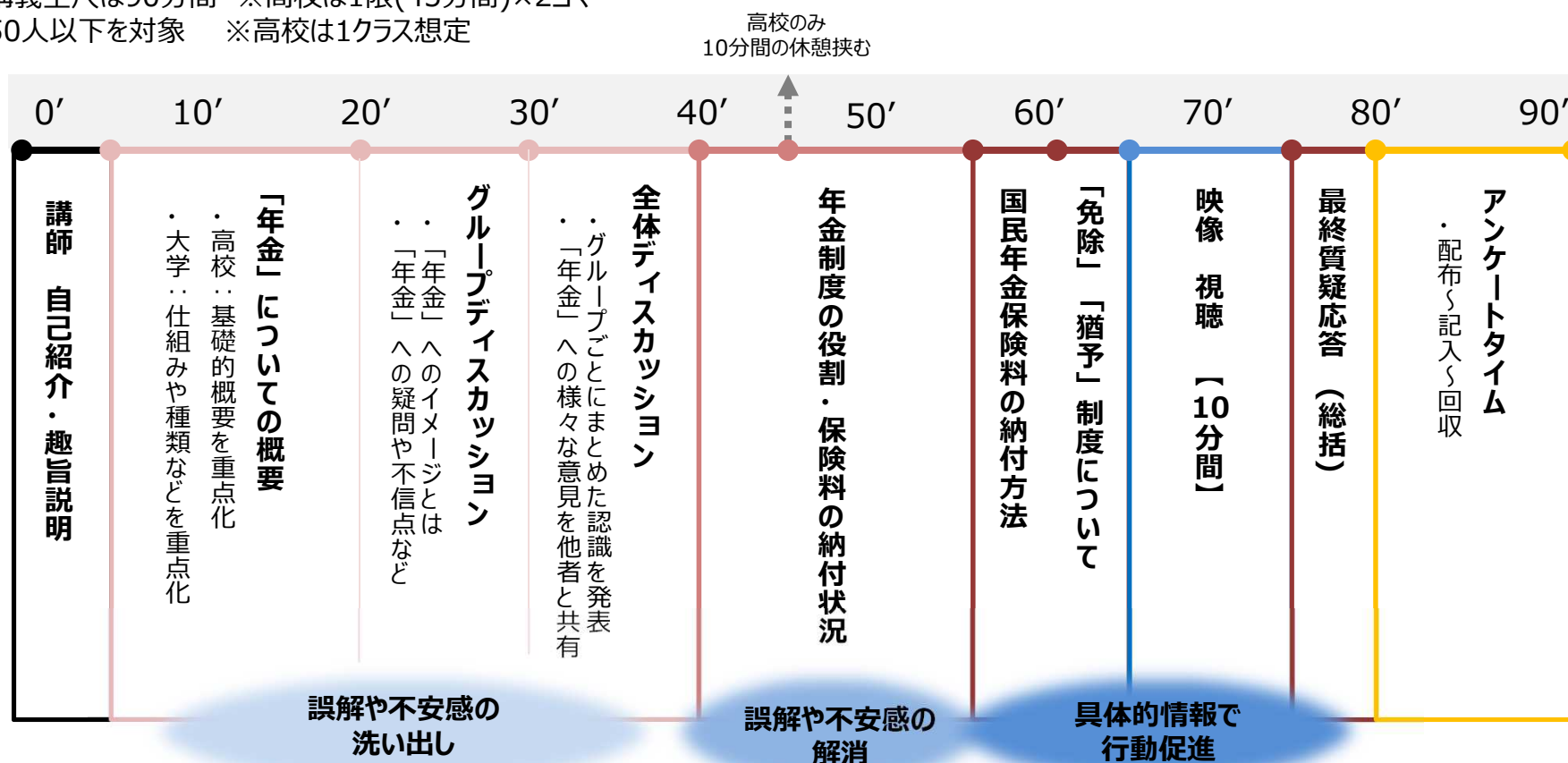
- ★ 国民年金保険料の納付方法
- ★ 「免除」「猶予」制度について

具体的情報で
行動促進

4.2. 講義想定概要のイメージ

【想定概要】

- ・講義全尺は90分間 ※高校は1限(45分間)×2コマ
- ・50人以下を対象 ※高校は1クラス想定



【今後の留意点】

- ・具体的な構成に関しては、実施場所の設備・備品(映像・音響設備等)および対象人数に大きく準拠するため、早期の実施校選定が求められます。

5. 作成スケジュールとPDCAモデル

5.1. 作成スケジュールとPDCAモデル

